

*サステナビリティ取組とは、持続可能な社会に向けた活動のことを表します。

MS&ADインシュアランス グループの取組み

MS&ADインシュアランス グループは、中期経営計画「Vision 2021」において、2030年に目指す社会像をレジリエントでサステナブルな社会と定めています。

SDGs(持続可能な開発目標)を道しるべに、価値創造ストーリー(9ページ)の実践を通じて、社会との共通価値を創造(Createing Shared Value:CSV)する取組みを一層進展させ、レジリエントでサステナブルな社会の実現に取り組んでいきます。

SDGs(エスディーゼーズ)：持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略称。

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。17の目標と169のターゲットから構成されています。



また、企業活動を通じた社会との共通価値を創造するCSV取組において、重要かつ社会からの期待も高い重点課題を7つ設定し、企業が存在する基盤である社会に価値をもたらすことで、社会との共通価値の創造によるサステナビリティの実現を目指します。

そして、これらの重点課題を「社会の信頼に応える品質」、「社員がいきいきと活躍する経営基盤」で支えます。

社会との共通価値を創造

〈7つの重点課題〉

- 新しいリスクに対処する
- 事故のない快適なモビリティ社会を作る
- レジリエントなまちづくりに取り組む
- 「元気で長生き」を支える
- 気候変動の緩和と適応に貢献する
- 自然資本の持続可能性向上に取り組む
- 「誰一人取り残さない」を支援する

社会の信頼に応える品質

- 高い品質で社会の信頼に応える
- 誠実かつ公平・公正な活動
- 人権を尊重した活動と対話
- 環境負荷低減取組を継続する
- PRI(責任投資原則)に則った投資活動

社員がいきいきと活躍できる経営基盤

- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 自ら学び考え、チャレンジし、成長し続ける社員に
- 健康経営
- 透明性と実効性の高いコーポレートガバナンス

当社のサステナビリティ取組

当社では、社会との共通価値を創造する(CSV)取組みの重点課題のうち、お客さまの「元気で長生き」を支える取組みを中心に推進しています。また、「社会の信頼に応える品質」、「社員がいきいきと活躍する経営基盤」のさらなる強化に取り組んでいます。

2020年度は、各職場で地域の健康課題や社会課題の解決に貢献するCSV取組を設定し、取り組みました。

2021年度も引き続き、社会課題等の解決に貢献するCSV取組に各職場で取り組みます。



お客さまに医療情報をお伝えする活動



オープンセミナーの開催

健康・医療をテーマとしたオープンセミナーを全国各地で開催し、多くのお客さまに聴講をいただいています。健康と医療、備えの大切さについて、お客さまの理解を深めていただくことに努めています。

冊子「先進医療を知るガイドブック」

先進医療技術に関する基礎知識および代表的な先進医療技術について、図表データやカラー写真などを用いてわかりやすく解説しています。

代理店・社員を通じてお客さまに無償配布しています。



ガイドブック

Webサイトによる情報提供

からだケアナビ

<https://www.karadacare-navi.com>

「知っておきたい病気・医療」「健康マメ知識」「食で健康」「健康ライフ」の4つのカテゴリについて、身近な健康情報を閲覧できる情報発信型Webサイトです。

「すぐに役立つ、ためになる」情報をお届けしています。



先進医療.net (先進医療ドットネット)

<https://www.senshiniryō.net>

先進医療や最新の医学情報を閲覧できる情報発信型の専用Webサイトです。先進医療を実施している医療機関の詳細レポートや先進医療に関するコラムにより、最先端の医療に関する情報をお届けしています。



先進医療ナビ

https://www.msa-life.co.jp/senshin_navi

先進医療の基礎知識、先進医療に該当する技術および療養内容、その実施医療機関を調べることができる情報検索型の専用Webサイトです。平易な表現を用いた解説や、豊富な検索方法など、閲覧される方の目的や用途に応じて、わかりやすくご紹介しています。



スマートフォンアプリの提供

ココカラダイアリー

お客さまのストレス状態・歩数の測定、身長・体重・体温・血圧等の数値や睡眠時間・食事内容の記録、医療情報の提供等により、ココロとカラダの健康づくりをサポートします。

*法人のお客さま向けには、従業員の健康データを集計表示できる専用Webサイトを用意しており、健康経営の推進にご活用いただけます。



バーチャル・リアリティ (VR) による情報提供

国内生命保険業界初、スマートフォンで再生した「バーチャル・リアリティ」による情報を提供しています。陽子線治療を行う医療機関の施設や最先端の医療技術、認知症のある方ご本人や、そのご家族の日常生活の疑似体験（一人称体験）等、臨場感を持って知っていただく取組みをしています。



社会課題の解決に貢献する取組み



世界の子どものワクチンを贈る活動

かけがえのない「いのち」を大切に守り未来に受け継いでいきたいという思いを込めて、当社商品ブランド「&LIFE (アンドライフ)」の新規契約件数に応じた金額をワクチンなどの購入費用として、認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会へ寄付しています。

2020年度分としては、ポリオワクチン12万人相当分を寄付しています。



©JCV

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

世界でワクチンがないために命を落とす子どもは1日4,000人。世界の子どもにワクチンを 日本委員会は、ワクチンで助かる小さな命のため、ユニセフやWHO、支援国の保健省などと連携して途上国にワクチンを贈る民間の国際支援団体です。ワクチンだけではなく、ワクチンを保存するための冷蔵庫などの関連機器も贈り、支援国が継続的、主体的にワクチンを管理し接種できるよう活動をしています。
<https://www.jcv-jp.org>

認知症の「共生」と「予防」に貢献する活動

認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守るため、認知症サポーター養成講座を社員・代理店が受講しています。受講後は認知症サポーターとして社会のお役に立てるよう、各地域の見守り活動に参画しています。

また、2020年度から一般社団法人日本認知症予防学会と連携して、地域の認知症予防活動を支援する人材を養成する「認知症予防フレンド」養成講座をオンライン開催し社員の受講を推進しています。2020年度末までに1,000名超の社員が資格取得しました。フレンド資格者を中心に、認知症予防についてひとりでも多くのお客さまへ正しい知識をお届けする啓発活動に取り組んでいます。



サポーターの目印の オレンジリング



認知症予防フレンド テキスト・認定バッジ

日本の子どもの貧困問題の解決に貢献

昨今の社会課題である日本の子どもの貧困問題の解決に寄与し、未来を担う子どもたちが将来への希望を持てる社会づくりに貢献したいと考え、特定非営利活動法人キッズドアへの寄付をしています。

寄付は、経済的に困難な生活環境にある子どもたちへの教育支援に役立てられます。

特定非営利活動法人キッズドア

日本の子どもの貧困率は13.5%*。キッズドアは貧困などの困難な環境にある日本の子どもたちの社会へのドアを開けるべく、多くの大学生・社会人ボランティアと共に、国内の子どもの教育支援に特化した活動を展開しています。

*2018年 厚生労働省調査より
<https://kidsdoor.net>

高齢者の現況確認を通じた社会貢献

ご高齢のお客さまに現況を確認する取組みの中で、当社が特定非営利活動法人ブリッジフォースマイルに寄付をすることの賛同を募っています。

賛同のお気持ちを表明いただいたお客さまの人数に応じた金額を当社から寄付しています。

ご高齢のお客さまが社会とのつながりを意識しながら、気軽に参加できる社会貢献活動として取り組んでいます。

認定NPO法人ブリッジフォースマイル

児童養護施設等から社会に巣立つ子どもたちに対して、自立のための知識やスキルを身に付けるセミナーの開催、就労や奨学金の支援、生活必需品や安価で安心して住める住宅の提供等、さまざまなプログラムで子どもたちの自立をサポートしている団体です。

2004年12月設立。
<https://www.b4s.jp>

脳卒中に関する啓発活動(脳卒中プロジェクト)

「日本脳卒中協会セミナー」の開催

公益社団法人日本脳卒中協会と共同事業契約を結び、全国各地で脳卒中の専門医を講師とする「日本脳卒中協会セミナー」を開催しています。

脳卒中では後遺症に悩む方が多くいます。また、要介護状態の原因にもなります。多くの皆さまに脳卒中の「予防」と「備え」への理解を深めていただくことに努めています。



受講者数
累計19,803名
(2021年3月末現在)

「脳卒中月間(10月)」での取組み

公益社団法人日本脳卒中協会が定める「脳卒中月間」では、生保課支社での「脳卒中セミナー」開催等により、脳卒中の症状や予防・治療などについて正しい知識の普及・啓発に努めています。

脳卒中発症予測シミュレーション

<https://www.senshiniryu.net>

年齢や身長・体重・最大血圧を入力するだけで、簡単に脳卒中の発症リスクを調べることができます。

監修:秋田県立脳血管研究センター



社会の信頼に応える品質に向けた取組み



途上国の課題解決を支援

MS&ADインシュアランス グループは、あらゆる事業活動において環境や社会との相互影響を考慮し行動することを通じて、企業価値の向上を図るとともに、持続可能で強くしなやかな社会づくりに貢献していきます。

当社と三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井住友海上プライマリー生命は、2016年に世界銀行(国際復興開発銀行)の発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドに投資を行いました。投資した資金は、開発途上国の持続的発展を目的とするプロジェクトへの融資案件に活用されています。

以降当社では、以下の債券投資を通じて収益性の確保のみならず、持続可能な社会の形成に寄与し、社会貢献事業への支援も果たしています。

発行年	発行体等	概要
2017年	アフリカ開発銀行 インダストリアルライズ・ アフリカ・ボンド	アフリカを工業化することを目的としたプロジェクトに活用され、融資を受けるプロジェクトは民間セクターを支援し、中小企業(SMEs)の発展の可能性を高めることを企図し、アフリカの持続可能な経済的、社会的発展に資することを目指しています。
2018年	独立行政法人国際協力 機構 ソーシャルボンド(JICA 債)	開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展のために活用されています。 なお、JICA債の発行は、2016年12月に日本政府が策定・公表した「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」において、SDGsを達成するための具体的施策の項目として掲げられています。
2019年	独立行政法人鉄道建設・ 運輸施設支援機構 サステナビリティボンド	アジアで初めて低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGOから認証を取得した債券です。調達した資金は鉄道建設プロジェクトや船舶共有建造プロジェクトを通じて国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献します。
2020年	米州開発銀行 サステナブル・ディベ ロップメント・ボンド	新型コロナウイルス感染症に対処する各国をサポートするために発行する債券です。「公衆衛生」「脆弱な立場に置かれた人々のセーフティネット」「生産性と雇用」「経済的影響の軽減を図るための財政政策」の4つの分野に集中的に融資します。
2021年	アジア開発銀行 ジェンダー・ボンド	アジア開発銀行によるジェンダーの平等と女性のリーダーシップ促進に資するプロジェクトを支援するために発行する債券です。国連の定義する17の持続可能な開発目標(SDGs)のうち、目標5(ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る)と整合します。

上記以外にも、以下の取組みなどを行っています。

- お客さま第一の業務運営(13ページ)
- お客さまの安心と満足度向上に向けた取組み(37ページ)
- 重要なことをわかりやすくお伝えする取組み(69ページ)
- ユニバーサルデザインへの対応(69ページ)

地域貢献・社員活動



「よこはま動物園ズーラシア」の緑化・花壇整備など

当社社員によるボランティア活動として、「よこはま動物園ズーラシア」の花壇や緑地の整備を行っています。

この活動は、よこはま動物園の園内緑化活動計画の一端を当社が担うものです。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止しています。



2019年度の活動の様子

社員参加で推進する活動

部署ごとに推進役を選任し、社会貢献活動に取り組んでいます。活動内容は、「地域の清掃活動」「チャリティーバザーへの物品提供・参加」「使用済切手等の収集」「募金・寄付」など多岐にわたっています。



ハートポイント制度による寄付

社員の自発的・積極的な社会貢献活動に対してポイントを付与し、そのポイント総数に応じて当社がNPO法人などに寄付を行う「ハートポイント制度」を実施しています。

取組みテーマは、いのち・医療に関する活動への参画、地域・環境貢献活動への参加、スポーツ振興活動などとしています。2020年度の活動分に応じた金額は、「災害からいのちを守る森」づくりのために公益財団法人 鎮守の森のプロジェクトに寄付しています。この活動は東日本大震災の復興支援にもつながる取組みです。

障がい者作業所製品の販売会

本社ビルでは、MS&ADホールディングスとともに障がい者作業所製品の販売会を開催しています。作業所で作られた製品を購入することで、障がい者の方々の自立を支援する活動として取り組んでいます。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、販売会を実施できなかったことから、オンライン販売への協力となりました。

上記以外にも、一般社団法人生命保険協会および全国にある地方生命保険協会を通じて、要介護老人支援策、募金・献血運動などさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

MS&ADインシュアランス グループとの共同取組み



MS&ADインシュアランス グループの企業が一体となって取り組んでいる以下の活動などに参画しています。

MS&ADラムサールサポーターズ～いのち・つなげる・水辺から～

ラムサール条約に登録されている湿地を中心に、全国11カ所(千葉県谷津干潟、栃木県渡良瀬遊水地、滋賀県琵琶湖等)で、水辺の環境保全活動を推進しています。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止しています。



2019年度の活動の様子

MS&ADゆにぞんスマイルクラブ

社員有志が毎月の給与から任意の額を拠出し、その資金をさまざまな団体に寄付をするなど社会貢献活動に役立てる活動を行っています。

東日本大震災に対する取組み

復興支援を継続的に進めていくことを目的に、日本プロサッカー選手会との共催で、宮城県南三陸町の小学生を対象に開催しているJリーガー(現役・OB)によるサッカースクールなどのボランティア活動を行っています。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止しています。

スポーツ振興



当社は、スポーツ界の第一線で活躍する選手をサポートし、日本のスポーツ界の強化・繁栄ならびに社会貢献の観点から、スポーツの振興に取り組んでいます。
サッカー・パラスポーツなどの選手が当社に在籍し、競技と仕事を両立させながら、活躍しています。

サッカー

当社は、WEリーグ(日本女子プロサッカーリーグ)に加盟する「ジェフユナイテッド市原・千葉レディース」を応援しています。このチームに所属する田中真理子・安齋結花選手が当社に在籍しています。2020シーズンはなでしこリーグ1部に在籍し、18試合6勝5分7敗で第6位の成績を収めています。
なお、千野晶子選手は2020年度をもって現役を引退し、現在は当社社員として勤務を継続しています。
今後も当社在籍選手をはじめ、ジェフユナイテッド市原・千葉レディースを応援し、日本女子サッカーの発展に貢献していきたいと考えています。
また、当社を含むMS&ADインシュアランスグループでは、サッカー日本代表を応援しています。



©JEF UNITED

パラスポーツ

視覚障がい者柔道

当社には、女子52kg級の石井亜弧選手が在籍し、国内外の大会に出場しています。
2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての大会が中止となりました。
このような状況においても、次に開催される試合に向けて、日々練習に励んでいます。



パラクライミング

視覚障害男子B2クラスの會田祥選手が在籍し、国内外の大会に出場しています。
2020年11月開催の「2020年度パラクライミングジャパンシリーズ第1戦」、2021年3月開催の「2020年度パラクライミングジャパンシリーズ第2戦兼2020年度パラクライミング日本選手権大会」に出場し、2大会とも1位の成績を収めました。



写真提供：一般社団法人日本パラクライミング協会
写真撮影：宮地 信樹

パラスポーツの普及・強化を支援

NPO法人日本視覚障害者柔道連盟、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟の活動に協賛し、パラスポーツの普及・強化を支援しています。
障がいのある方々の社会復帰や生きがいの発見、クオリティ・オブ・ライフの向上に役立ち、多様な人々が活躍し、共に生きる社会を目指すダイバーシティ&インクルージョンの推進につながると考えています。



撮影：日本パラ陸上競技連盟

環境問題への取り組み



「三井住友海上あいおい生命 行動憲章」では社員の果たすべき7つの責任の一つに「環境への責任」を掲げ、MS&ADインシュアランスグループの一員として、環境問題への取り組みを積極的に推進しています。また、中期経営計画「Vision 2021」にも、社会や環境と共存し持続可能な成長を図るために「サステナビリティ取組の推進」を掲げ、その一環として、以下の環境基本方針のもと地球環境の保全と改善に向けた取り組みを進めています。

MS&ADインシュアランスグループ環境基本方針

MS&ADインシュアランスグループは「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます」という経営理念(ミッション)に基づき、環境について経営戦略の一環として次の主要課題を定め、行動基準に沿った取り組みを推進します。
環境マネジメントシステムによる継続的な改善に努め、環境関連法規制やMS&ADインシュアランスグループが同意する原則・指針等を遵守します。

主要課題

1. 気候変動の緩和および気候変動への適応
2. 持続可能な資源の利用
3. 環境負荷の低減
4. 生物多様性の保全

行動基準

1. 保険・金融サービス事業を通じた取り組み
主要課題に貢献する保険・金融サービスを創出し、社会課題の解決と企業価値の向上に努めます。
2. 事業プロセスにおける取り組み
事業プロセスを革新的に見直し、資源・エネルギーの効率的利用を図りつつ、品質向上および業務の改善に努めます。
3. 環境啓発および保護活動
役職員および地域社会や次世代への環境啓発を通じて、ステークホルダーとともに環境保護活動を推進し、信頼と共感を獲得します。

環境マネジメントシステムの推進

2013年4月より、MS&ADインシュアランス グループ共通のマネジメントシステム「MS&ADみんなの地球プロジェクト」を開始し、環境への取組みを推進しています。当社の環境活動は、環境負荷低減に向け、全社員が「全店共通活動」を進めています。

全店共通活動

1. 紙使用量の削減

在宅勤務、リモートワークの推進、Web会議等を利用したペーパーレス会議、両面コピー、2イン1縮小コピー、裏紙の利用などに全社員で取り組んでいます。

2. 電力使用量の削減

時間外労働の抑制、長時間離席時の端末電源オフ、未使用区画の消灯、階段利用の促進、夏季期間中の冷房温度設定、冬季期間中の暖房温度設定などに全社員で取り組んでいます。

3. ガソリン使用量の削減

MS&ADインシュアランス グループとして、自動車保険のご契約者さまなどへお薦めしている「エコ安全ドライブ」に、当社の社有車を運転する社員自らも取り組んでいます。また、Web会議の活用により、社有車による移動自体を削減しています。